

令和５年度 第２回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和５年９月４日（月） １４時００分から１５時００分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 ２階会議室
- 3 出席委員 島田 篤志、井口 隆夫、遠藤 喜和、加藤 宏史、金原 圭吾、松澤 久仁美、行森 瑞恵
- 4 欠席委員 高須 博、安間 忠雄
- 5 オブザーバー 野嶋 京登（富塚協働センター主任）、関 イチロー（市議会議員）
- 6 学 校 中津川 貴一（校長）、松島 雄次郎（教頭）、藤原 啓子（ＣＳ担当教職員）、深田 貴代（教務主任）、村松 郁枝（１年主任）、西村 脩平（２年主任）、鈴木 善久（３年主任）、岩邊 三幸（ＣＳディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（浜松市教育委員会総務課主任）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録制作者 ＣＳディレクター 岩邊 三幸
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から行森委員を推挙する旨の発言あり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （１）学校運営について（授業を見学しての感想も含めて）
- （２）学校運営協議会の在り方について

本年度の目標「富塚の地域性と現状に生きる生徒の成長に合わせたコミュニティ・スクールを目指し、学校、家庭、地域が共に成長できるようにビジョンをもっと広く共有していく」に照らし合わせて

○グループ討議（◎はグループ代表者）

- （Ａ）（◎村松、井口、行森）
- （Ｂ）（◎西村、藤原、加藤、松澤）
- （Ｃ）（◎善久、深田、遠藤、金原）

12 会議記録

司会の松島から、委員総数９人のうち７人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- （１）学校運営について（授業を見学しての感想も含めて）

議長の指示により、授業を見学しての感想と学校運営について、学校職員と委員とのグループ別で熟議を行い、グループ代表者が次のように発表した。

（グループＡ）

- ・ クラスによって雰囲気が違う。
- ・ 全体的にみて比較的落ち着いているように思うが、１年から３年と学年を跨いで見ると、３年生

は成長を感じる。

- ・ 子ども達がクーラーのある良い環境で授業ができています。給食の後とは言え、ゴミもなく綺麗な環境を維持している。

(グループB)

- ・ 全体的な雰囲気で見ると落ち着いていて、先生方も一生懸命授業をやっており、子ども達も先生の話もしっかり聞いていると感じる。
- ・ 子ども達同士で教え合い、助け合うような雰囲気がある。
- ・ 中には色々な子もいるが、子ども達同士でそういった子を排除するのではなく、受け入れる体制があり、良い雰囲気を感じる。

(グループC)

- ・ 授業では子ども達が楽しく活動できており、学習環境も良く、良い雰囲気を感じる。
- ・ 和やかな雰囲気で行われているので、日々の生活の中でもいじめが少ないのではないかと思います。
- ・ 家庭科の課題等も子ども達が家庭で料理をしたり、地域でできることを行ったりと前向きに一生懸命やっている様子が見られた。親と子や地域との協力体制が整っているので、多くのことを学ぶことができています。

(2) 学校運営協議会の在り方について

議長の指示により、学校運営協議会の在り方について、学校職員と委員とのグループ別で熟議を行い、グループ代表者が次のように発表した。

(グループB)

- ・ ボランティア、TS活動等で保護者の人脈だけでなく、地域の方が積極的に関わってくれており、協働センターの様々な活動等でも富中のコミスク活動が支えられていると感じる。
- ・ 中学校を卒業した後も、高校生がボランティアや地域の活動や行事に積極的に参加してくれているのは、この地域ならではのことで、凄いことだと思う。
- ・ 富小・富西小・富中の3校での人脈を共有し、業務の効率化を図ればどうか。教員も異動があるので、そういったものをリストアップし、情報を共有していけたらいいと思う。
- ・ 地域性もあるので、小学校でどのようなCS活動をしていたか、記録として残しておけばどうか。

(グループC)

- ・ 例年、未来授業や職場体験等で地域の方に大変お世話になっているが、それだけではなく、ここから高校、大学等と進学していく上で、色々な職業を持たれた方が富塚中学校にはいらっしゃるということで、その方達から職業のことや、今後の生活や生き方についてお話を伺える機会があれば、子ども達がもっと更に未来を想像しながらいけるのではないかと。
- ・ 総合の時間で、地域愛を育むような機会を持つ。例えば、大学進学等で浜松を出てしまうと、地元に戻ってこない学生、社会人がいる。そういう人達が浜松の為にもう一度戻ってこようと思わせる街にしていけるように、中学校で浜松の素敵な場所や魅力を知り、地元企業への知識を深める等、そういった部分をしっかり見つめて、地域を学ぶ機会を持てれば良いと思う。

(グループA)

- ・ さくら連絡網を活用し、まだ関わっていない方も幅広く募集してみてもどうか。例えば、自分の娘の小学校では、家庭科の調理実習の補助、ミシンを使う授業での補助等、頻繁にメールで募集をしている。そのような形で保護者に投げかければ、子どもの保護者だけではなく、地域の方で埋もれている人材を発掘できる良い機会になるのではないかな。
- ・ 自治会の活動を通して感じるのが、家庭と学校は割と関わる部分があり、地域と学校も色々な活動でつながっているが、地域と家庭での繋がりが希薄になってきていると感じる。昔のような地域コミュニティはとっくに崩壊しており、それをどう再構築するかというのがこれからの地域の課題である。そういった意味でも協働センターさんのボランティア活動等は非常に有り難く、地域と家庭が繋がりを持つ良い場所を提供してもらっている一例であると思う。

(1)、(2)のグループの発表を受けて、委員からは以下のような発言があった。

- ・ 自分は未来授業に派遣させていただいて、色々な学校を回っていて思うのが、最近その職業についても偏りが出てきているように思う。そうならない為にも、例えばさくら連絡網で保護者に募集をかけ、子ども達が興味のある色々な職業に対するお話を授業で知る機会を持つ。そうすることで、子ども達はその方に興味を持ち、外で会ったときに声をかけるかもしれない。そういった事が増えれば増えるほど、先ほどの課題として上がった地域と家庭の繋がりの部分を濃くしていくことができるのではないかな。(金原委員)
- ・ 富小・富西小・富中の3校の人脈のリストアップを教頭先生にやっていただきたい。職場の先生方も異動があるので、講話をやって下さった方、職場体験、未来授業等で紹介してもらった方のリストアップ、そういった全ての行事等の過去の履歴を取り纏めた情報をエクセル等で作成したものを3校で共有すれば良いのではないのでしょうか。(加藤委員)
- ・ 個人の情報は問題があると思うが、会社ですと個人ではないので、情報開示しても何ら問題はないのではないかな。会社名や経営者の情報をリストアップしていくのは一つ現実的なものになるのではないかな。(金原委員)
- ・ 例えば自治会の方で、お仕事を退職された方でも、経験則のある方がいらっしゃると思うので、そういったところの情報があれば、色々な話がもっと広がっていく。我々保護者だけではなく、地元の方の情報を共有できていけば良いのではないかな(金原委員)
- ・ あまり広げてやっていると、管理も大変になってしまうので、例えば学校行事の中でも限定的に未来授業等の大人と関わる講座一つ、二つで、自治会に募集をかけてみる。学校側の責任もあるでしょうし、色々クリアしないといけない問題があると思いますが、どうでしょうか？(島田委員)

⇒お話を伺っている中で、さくらメールを使ってというのは、コミスク活動において具体的に何か必要に応じて使えるものかと思っている。ただし、教頭にたくさん仕事をやらせるわけにはいけないので、それは正直非常に苦しいところです。過去の人脈のリストアップについて、一覧表はないけれども一応情報は残っている、そういった状況です。コミュニティ・スクールを活性化させていくことと、学校職員の業務バランスというのは、正直関係性をうまくやっていかないといけないというところがある。学校として、色々な活動をもっと広げていく必要性はあると思わ

ない。ただ、この活動が更にやり易くなる方向に持って行くということなら嬉しいなと思います。(校長)

- ・ 学校の負担というところを考えると、地域で何ができるかということ、学校生活の中でどういうサポートをできるのかということ、まず基本的には考えないといけない。今回の熟議のテーマにもなっているが、コミスクの在り方というのはそこだと思う。自分たちに何ができるのかということであり、こういった議論を重ねながら、富中にあった形が何なのかをしっかりと考えていかなければならない。コロナ明けで日常生活に戻り、薄れていくものもあれば、これから必要になっていくものもあるので、そこをしっかりと見極めて、学校のご負担がないように僕たちができること、地域ができることを考えたい。(島田委員)
- ・ Bグループの方で挙げた意見として、コミュニティ・スクール自体が小学校との連携を取らなければいけないと一番に思いました。小学校との連携、一度3校で話し合いをする。どういう状況で活動を進めているのかということをお互い認識した上で、それぞれの立場で何ができるかを考え、地域全体としてやっていく。それが将来の良い地域作りにもつながっていくのではない。(島田委員)

その他の連絡事項

司会から、9月21日(木)にサーラ音楽ホールにて合唱コンクールを開催するとの報告あり、委員へ参加を呼びかけた。

また、次回会議は令和5年11月22日(水)午後2時30分から2階会議室で開催する旨の報告があった。